

第7回 0から始める！やさしい疾患勉強会

「認知症」について学ぼう！

～研修会報告～

この研修会は、主に介護職の方が「疾患の基礎知識」「生活支援の中の観察項目」「支援時のケアの注意点」などについて学び、疾患の基礎知識を持ったうえで必要な情報共有や支援につなげることを目的として開催しました。多職種68名(会場12名、オンライン56名)の方がご参加くださいました。

開催日時:

2024年4月25日(木)

14時～16時

みき ゆうじ
講師 **三木 悠史** 氏



姫路赤十字病院
看護部看護係長
認知症看護認定看護師

主 な 内 容

- ◆急性期病院における認知症ケア、せん妄ケア
- ◆認知症とは？(疾患の基礎知識)
 - ・定義 ・原因 ・うつ、せん妄との比較
 - ・検査(チェックシート、画像、神経心理学)
- ◆治療・支援のポイント
 - ・代表的な認知症の種類と特徴
 - ・中核症状、BPSD への対応
 - ・薬物療法
- ◆皆さんと共有したいこと
 - ・その人らしさが保たれる支援
 - ・ACP の必要性

★「介護職に必要な病気の知識とケアのポイント」として、過去の疾患研修会をまとめた資料を作成しています。ぜひご活用ください！！(まとめの資料はセンターホームページでご確認いただけます！)

ホームページ→ <https://www.himeji-renkei.com>

参加者の皆さまからの声をご紹介します (アンケートより一部抜粋)

- 認知症のケアにおいて、認知症の種類によって対応が異なることが分かった。生活背景や情報の重要さをアセスメントに活かし、その人にあった対応を寄り添って過ごしたい。
- せん妄と認知症の違い、対応方法などについて詳しく学べた。その人ができること、その人らしさが保てることを大切に関わりたいと思った。
- 報告書に記載すべき具体例を提示していただきとても参考になった。
- 認知症患者さんへの理解が深まり、どう接するべきなのか具体的にシミュレーションしながら頭に思い浮かべることができた。
- 具体的な援助方法とその考え方が学べた。本の紹介もあり読んでみようと思う。
- 認知症の周辺症状が悪化すると、つい受診や服薬の変更に頼ってしまう事があるが、まずは本人の不安を軽減するように寄り添って行く事が大切だと改めて感じた。

★【次回勉強会予告】第8回テーマは「大腸がん」です。詳細が決まり次第お知らせいたします★